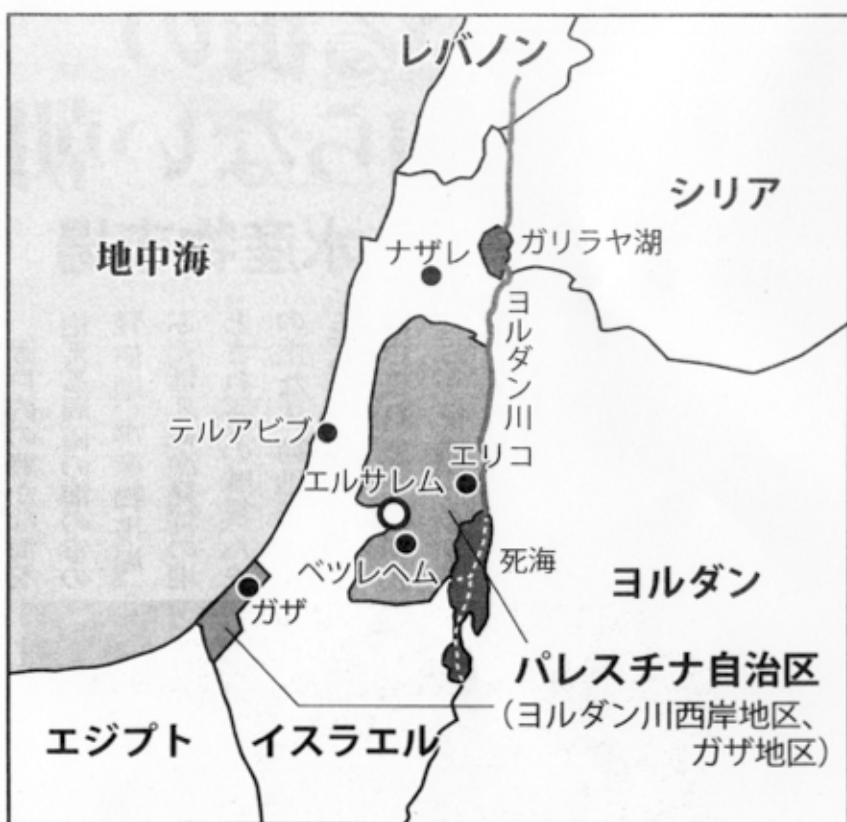




20年ぶりのパレスチナ パレスチナ巡礼①

パレスチナ、長女はに位置するパレスチナ。七年間、この地でNGO活動に従事した。その中心にあるエルサレムの活動を支援するた「聖地」。キリスト教徒の活動を支援するた「聖地」。キリスト教徒の活動を支援するた「聖地」。キリスト教徒の活動を支援するた「聖地」。



パレスチナの地図

第二次世界大戦後の一九四八年にパレスチナに建国されたのが、ユダヤ人国家、イスラエルである。確かに以前、この地にユダヤ人が住んでいた。しかし、それは二千年も前の話で、紀元七〇年、ユダヤ人はローマ軍との戦いに敗れ、世界各地に離散した。



オリーブ山から見たエルサレム市街
=右端がイスラム教の黄金のドーム

ユダヤ人に代わってその後、パレスチナに多く住んだのはアラブ人である。一九四八年に国連決議のもとにイスラエルが誕生し、長くこの地に住んでいたアラブ人は住む土地を失う。この国連決議の背景には、第二次世界大戦で六百万人を超えるユダヤ人がナチス・ドイツによって殺されたことがある。キリスト教国家の多いヨーロッパでは、ユダヤ人もその状態は続いている。中東戦争で大量に発生したパレスチナ難民。第四次中東戦争から二十年後の一九九三年にようやくオスロ合意でヨルダン川西岸地区とガザがパレスチナ自治区として認められ、紛争は決着するかに見えた。

長女がパレスチナの貧しい母子の保健プロジェクトの一員として現地に住み始めたのはオスロ合意の二年後の一九九五年のことである。

今、世界の目はシリア紛争で難民が大量にヨーロッパに流入していることに向いているが、パレスチナ問題は解決したわけではなく、むしろ悪化している。